

●受難節第二主日

泉のほとり

今月の詩編「第十五編」

主よ、どのような人が、

あなたの幕屋に宿り、

聖なる山に住むことが

できるのでしょうか。



御名を汚さない誠実さに

「神はこれらすべてのことを告げられた」と始められる十戒は、神ご自身が直接、民に告げられたものです。最初に「わたしは『主』、あなたの神」と告げられ、第一、第二の戒めが命じられました。2度も「わたしは『主』、あなたの神」とご自身を表され、「あなたの神、『主』の名をみだりに唱えてはならない」と、第三の戒めが告げられました。

この『主』という言葉にはすし説明が必要です。ここには本来、神のお名前を表すヘブライ語の四文字（聖四文字）、母音のない子音だけの四文字が記されています。ユダヤ人たちは、この聖四文字を口にするのを恐れ、「主人」という意味の「主（アドナイ）」に代えて読みました。その結果、正確な発音が分からなくなり、後の学者が再構成した音が「ヤハウェ」です。神の御名である「ヤハウェ」を口で表さず、「主」と発音したことが、私たちの聖書にも「主」と表すことになった経緯です。

「『主』の名をみだりに唱えてはならない」の「唱える」は、発する行為全般を表しています。自分の願いをかなえるために『主』の名を呼び祈ることや、自分の発言の正当性を担保するために「『主』の御名に誓って言う」ことも禁じていると言われます。

ところで、人が「自分の言葉は真実だ」と神に誓う時、いと高き神のお名前を、その権威を借りて物を言っているとの恐れがあるでしょうか。祈る時も語る時も、「神」という全能者をこの私が口にしていないとの自覚と恐れが必要です。

例えば、ある人が自分の心が傾いた奉仕の場に着きたいがために「神の御心だと確信した」と言ったら、それはあつてはならないことです。「神の御心だ」と言う時点で、全能なる神の権威を借りて物を言っていることです。以前、ある方が品川教会に来て、礼拝の時、「ここがあなたの教会だ」と示され、教会に導かれたと証しされました。

しかし、数週間後に来なくなったのです。神が示された口へのぼったその言葉が、なかったことになる。そこには拭いきれない空しさがありました。私たちはそのような言葉が普通に通用する、それに対し違和感も持たないほど神の御名に対し、心が鈍くなっているのではないのでしょうか。この第三の戒めはまさにこの我々の世代に命じられていると受け止めたいのです。

「みだりに」と訳されたことばは「空しく」とも訳せます。この第三戒めは人の空しい唇により、御名が空しいものになってしまう結果をも禁じています。それを祭儀の言葉で表すと、この第三戒めは「『主』の御名を汚してはならない」と言えます。

幕屋において、民の罪が祭壇を汚すため、血を塗って清めました。これは、民の罪や汚れが、神の家を汚し、なお「神の御名」を汚すことになるという霊的な意味です。

これと共に、「主の祈り」を思い起こしたいのです。「御名が聖とされますように」と私たちは祈ります。民が罪と汚れに生きるのではなく、聖なる生き方ゆえに『主』の御名が聖とされるのです。主イエスの十字架の御業は、神の聖なる御名を私たちに表し、御名を聖とされました。第三の戒めは、『主』の名を空しく口にしてはならないと、まず足元から戒めることで、御名を汚さないことを学び、そこからなお、『主』の御名を聖として生きるようにと導いていると思います。

箴言30章には、知恵者の祈りがあります。「貧しくなつて盗みをし、私の神の御名を汚すことのないように」と。悪誘惑に陥りやすい私だからこそ、自分は大丈夫だと思わず、してはならないことをしない。それで御名を汚さないようにと努める神への誠実さを、この知恵者から学べるのではないのでしょうか。

神の御名を口にすらない、汚れた唇の私に、神は御子を通して御名を表し、御子による神の御業は、私たちの唇を根本から清める御業です。愛しい『主』の御名を心の中心に据え、何をしても御名を汚さない誠実さに生きようではありませんか。「みだりに、空しく『主』の御名を口にしない」は、その誠実な心なくしては行えません。日頃の自分の口を吟味し、最も近い足元から、御名を尊び生きていきたいと思えます。

《公 告》

左記の通り、三月教会総会を開催いたします。
現住陪餐会員はご出席下さい。

キリスト品川教会
代表役員 黄 允 滉

記

日時 3月15日(日) 12時30分(目途)から
場所 キリスト品川教会地下ホール及びリモート

議題

- 一 2026年度教会全体課題案に関する件
 - 二 2026年度教会行事予定案
 - 三 2026年度主日および週間集会予定案
 - 四 2026年度教会一般会計予算案
 - 五 2026年度地域センター会計予算案
 - 六 2026年度グローリア・チャペル
経費管理会計予算案
 - 七 2026年度附属幼稚園会計予算案
 - 八 2026年度グローリア・チャペル
施設管理会計予算案
- 九 宗教法人キリスト品川教会規則改定に関する件
- ① 責任役員定数変更に関する件
 - ② 定期総会日程変更に関する件
- 十 2026年4月総会日程の延期に関する件

※ 議員資格 満18才以上の現住陪餐会員。

(陪席) 義務教育終了後満18才未満の現住陪餐会員と不在会員、
教会員でない附属幼稚園教諭は、教会総会に陪席することができま
す。(キリスト品川教会教規第3章第14条より)

2026年度

教会役員候補者

キリスト品川教会
代表役員 黄 允 滉

教会役員会は次の6名を役員候補者として
選考いたしました。

荒美 俊三

石川 一

井手 英利史

佐山 貴亮

平川 智恵子

山名 弘史

《今日のお知らせ》

○ 礼拝後、一二時三〇分から三月総会に向けた教会員懇
談会を地下ホールで行います。教会員はお集まりくだ
さい。

○ 運営委員会、各小委員会がそれぞれ行われます。

○ 受難節を過ごしています。この一年、受けた恵みを原
稿用紙二枚(八〇〇字)以内でお書きいただき、ご提
出ください。メールでの提出も受け付けます。アドレ
スは lent@gloria-chapel.com です。

《ぶどうの会より》

本日、ぶどうの会はお休みです。

《祈りの会より》

本日、祈りの会を短く行いますので、ご参加になれる方
はどうぞご参加ください。一〇時〇五分〜一〇時二〇分
第一シオンーム 司会 荒美俊三兄

《味噌造りの会より》

三月八、九日に予定していた活動は中止します。今後の
予定が決まりましたら、改めてお知らせします。

《ルツの会より》

次週、八日礼拝後、地下ホールでルツの会を行います。
民数記二〇章から学びます。聖書、讃美歌をお持ちの上、
ご参加ください。

《交 読 詩 篇》

※会衆は太字の箇所を唱和します。

〔司・会〕の箇所は司式者と会衆が合わせて唱和します。

〔詩篇十五篇〕ダビデの詩。賛歌。

主よ、どのような人が、あなたの幕屋に宿り

聖なる山に住むことができるのでしょうか。

それは、完全な道を歩き、

正しいことを行う人。

心には真実の言葉があり

舌には中傷をもたない人。

友に災いをもたらさず、

親しい人を嘲らない人。

主の目になわなないものは退け

主を畏れる人を尊び

悪事をしないとの誓いを守る人。

金を貸しても利息を取らず

賄賂を受けて無実の人を陥れたりしない人。

(司・会)

これらのことを守る人は

とこしえに揺らぐことがないでしょう。

《今日の子ども礼拝》

●子ども礼拝(午前9時20分・地下ホール)

説教 「互いに足を洗い合う」

聖書 ヨハネ13章12〜15節

説教者 宮間彰広兄

《次週の礼拝》

●子ども礼拝(午前9時20分・地下ホール)

説教 「主につながって生きる」

聖書 ヨハネ15章1〜10節

説教者 宮間彰広兄

●主日礼拝(午前10時30分・礼拝堂)

讚美歌 138番 294番

説教 「自分の業をやめる」

聖書 出エジプト記20章8〜11節

説教者 黄允湜 牧師





主日礼拝 (午前10時30分)

讃美歌	140番	168番
説教	「今日、あなたの王が来られる」	
聖書	ゼカリヤ書9章9～10節(旧約 P.1489) マタイ21章1～11節(新約 P.39)	
司式	山下 純一 兄	
聖餐司式	黄 允湜 牧師	
説教者	吉村 和雄 名誉牧師	

前奏曲「装いせよ、愛する魂」J.S.バッハ

○讃美歌140番

1.いのちのいのちに ますますイエスよ
主イエスはわがため その身をすてて
ほろびのふちより みちびきいだし
くちぬいのちを あたえたまえり

2.ああ主よ 主イエスは はじをもしのび
わがためのろいを 身に負いたまひ
あくまのわなより すくいいだして
とわのやすきを さずけたまえり

3.ああ主はわがため 十字架をとりて
たかぶりおごりを みなうちくだき
死ぬべき罪より あがないいだし
あまつさかえを えさせたまえり

4.わが身にかわりて 死にたるイエスよ
十字架をあおげば なぐさめつきず
なやみもおそれも すべて消えゆく
主のみめぐみは ありがたきかな アーメン

※礼拝のしおりと讃美歌をお持ちください。

○聖歌隊による讃美

「神こそはわが力」 William Henry Monk作曲

神こそはわが力

わが救い わが歌ぞ

み神はわが歌 み救いとなりたまえり

義の門(かど)を開きたまえ

わらは入りて 神に謝し

ほめ歌をささげん

石つくりの捨てたる石は

隅の親石となれり

今日ぞ 主のたまえるよき日

いざ われら楽しまん

われら喜びて 楽しまん

ハレルヤ アーメン

○讃美歌168番

1.イエス君の御名に まさる名はなし
みかみのみこころ 世にあらわせり ※
(※くりかえし)

わが君イエスよと 喜びうたう
尊き御名こそ 比いもなけれ

2.いとたかき神の み子にいませど
世をすくうゆえに イエスとは呼びぬ ※

3.すくいの十字架に かけし御名を
よろずのくにたみ 今なおあひす ※

4.父なるみ神の 右にのぼりて
み代しらすイエスの みいつかしこし ※
アーメン

聖餐曲「くすしきみ姿仰ぎつつ」D.ウット

後奏曲「アレグロ (ヴィヴァルディによる協奏曲より)」

J.G.ガアルター